

「学びの教室」

令和7年6月6日
 特別支援教室「学びの教室」
 巡回指導拠点校・通級指導校
 文京区立駒本小学校
 校長 根来 郁明
 文京区立汐見小学校(巡回校)
 校長 山田 晴康

駒本小学校特別支援教室直通電話 3827-5575(ファクシミリ兼用)

通信

発達特性と学習の機会

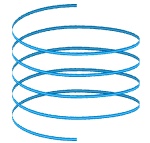
6月になると例年通り、日本列島付近に前線が停滞し、特別支援教室の利用児童にとって、苦手とする季節となりました。

さて、今号では「発達特性と学習の機会」について考えてみます。

特別支援教育関係の研修会でも取り上げられるものの一つに、教育における「マタイの法則*」というものがあります。

例えば、「読み書きのつまずき」があるお子さんがいたとします。

そうすると、次のようなことが生起する可能性があります。



1. つまずきがない子どもに比べて、字を読むのに極端に時間を要したり、流ちょう性に欠けたりする。
2. 本(長文)が読めない、もしくは、認知的負荷がかかってしまうので、自ら読もうとしない。
3. 読み慣れないので、文章を読むスピードが遅いまま、さらに語彙なども増えない。

ますます、学習が嫌いになる、苦手感が増大する

似たようなことは、協調運動などに弱さがあるお子さん(特性により身体を動かすことに苦手感をもち、そのことで運動の機会が減少し、さらに当該スキルを形成する機会も失われ、運動嫌いになる...)にも見られます。

特別支援教室「学びの教室」では、習得できていないスキルの形成・定着を目指すとともに、どうしても遂行が難しい場合に、代替手段の利用を自ら申し出るために必要な援助の在り方などを指導しています。ご家庭でも連絡ファイルに記入したプログラムをお子さんとご一緒にやってみたり、折を見て、支援を自ら申し出ることの大切さに触れていただいたりしますと幸いです。よろしくお願ひします。

*経済・社会用語の転用

ロバート・マートンが、新約聖書「マタイによる福音書」の「持っている者は与えられていよいよ豊かになるが、持っていない人は、持っているものまで取り上げられるであろう」を元に提唱。経済的側面に当てはめると「富める者はますます富み、貧しい者はますます貧しくなる」という法則。

<保護者の皆様へ 夏季個人面談について>

7月14日(月)から駒本小学校エリア特別支援教室の夏季個人面談を実施いたします。今回も特別支援教室利用児童の**全家庭が対象**です。ご多用とは存じますが、後日配布の「お知らせ」をご覧になった上で、締め切り日までに必ずご提出くださいますようご協力ください。

<令和7年度 第1回保護者学習会について>

日時:令和7年7月23日(水)10時~11時30分 ※日程が変更になっております。

場所:駒本小学校 特別支援教室「学びの教室」 多目的ホール

講師:朴の木療育塾 代表取締役 網代 布美子

「先輩母から学ぶ ~「困った」を感覚統合の視点から~」

※詳細は、後日配付する案内をご覧ください。